

コミ協の活動状況

総務部会 高山ゆり子

- ①4.6ラジオ体操で「長寿」総会
- ②4.8入舟地区自主防災会研修会(参加89名)
- ③5.13第36回お互いさまランチ(参加77名)
- ④6.3入舟地区コミュニティ協議会第14回総会(参加63名)
- ⑤同日 中央地区日赤入舟分団総会、入舟地区社会福祉協議会総会、入舟地区防犯協会総会、入舟地区自主防災会総会を開催。

- ⑥6.23 春期合同安全パトロール(参加48名)
- ⑦7.8 第37回お互いさまランチ(参加81名)
- ⑧7.16海岸一斉清掃
- ⑨7.29ビーチライフ・イン新潟
- ⑩8.7説明会(参加;区役所14名、コミ協26名)
- ⑪9.15(予)夏期合同安全パトロール(参加名)
- ⑫9.16 敬老会/お互いさまランチ(参加132名)
- ⑬9.30(予)ふれあいウォーキング(参加名)
- ⑭9.30(予)コミ協だより第22号発刊

「体験型学習施設 四季防災館」

富山県広域消防防災センター見学記
自主防 副会長 豊島裕美子

平成30年7月31日(火)新潟市防火連合協議会の研修視察として、富山県広域消防防災センター「四季防災館」へ行ってきました。今回の研修視察には、市内18地区の地区会長、婦人部長、事務局合わせての26人が参加しました。

この四季防災館では、富山の春夏秋冬を通じた自然のサイクルの中で災害をとらえ、克服に向けた先人たちの努力を学ぶことができる防災展示、学習の場です。

館内には、富山防災シアター、地震体験、初期消火体験、水害と治水の歴史の展示など合わせて14ヶ所のコーナーがあります。

私もいくつか体験させていただきました。

①地震体験は地震の揺れを3次元で再現する振動装置でとてもリアルに体験できました。②風雨災害体験は、



室内で豪雨と暴風を同時に体験でき、風速30m以上の風雨にはとても驚かさされました。

③初期消火体験は映像スクリーンの火災に向け放水を続けると映像が変化して消火が成功すれば火は消えますが、放水の仕方が悪いとなかなか消えずタイムアウトになります。火元に向けて放水しないと消火できないことなどを学びました。

今回、大変有意義な機会をいただき感謝するとともに、より多くの皆さんからこのような体験をしていただければ、新潟県内にもこのような施設ができることを期待しています。



初期消火体験



風雨災害体験



高齢者等助け合い体験

編集後記

コミ協事務室がコミセン倉庫の一隅に移動して約1年半が経過した。異常時の措置であって、やむを得ない事ではあるが不安定な状態であった。本誌で報じた様に、消防署附船出張所の移転先が小学校跡地に決定し、附船交番も移転先決定の最終段階にあると言われる。

今回、行政の説明で、小学校跡地活用、コミセンの

移動に具体的な目処が得られた。

今後、最終章と言うべき「コミセン跡地」の活用について、提示される活用案を、行政と練り上げて、3月までに活用方針(案)を決める難業が残される。地域一丸となって、乗り越えて行きたい。

編集委員; 鈴木喬、高橋誠一、田村幸夫、高山ゆり子、古寺昭治、小島良子、阿部幹雄、風間幸一、宮尾益史

入舟 コミ協だより

第22号
発行: '18.10.1
発行所: 入舟地区
コミュニティ協議会
責任者: 田村 幸夫
TEL 223-3532



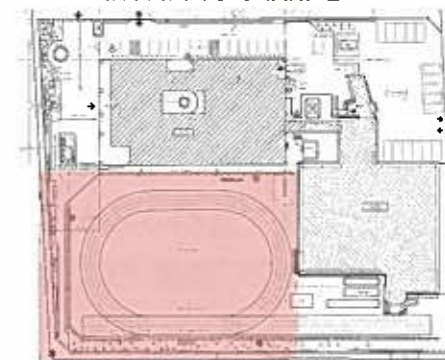
「消防署移転先の決定」

コミ協 副会長 鈴木喬

- (1)日時;18.8.7(火)18:00~19:30
- (2)会場;北部総合コミュニティセンター
- (3)出席者;地域課;田辺、戸嶋、金成、小出
公共建築1課;小池、山本、消防局;江部、井本
中央図書館;大井、高橋、山下、出張所;五十嵐
コミ協;理事;15名、跡地委員9名
- (4)議題;北部総合コミセンの移転
- (5)実施計画;H27.5コミ協提案書への反映
☆地域センター機能: ①コミ協の事務所⇒4階コミ協事務室 ②NPOの活動拠点⇒1~5階貸室
③旧小学校資料の歴史記念館⇒1階展示室1、2
☆しもまちターミナルエリア機能 ④防災教育センター⇒5階防災教育室 ⑤こども図書館⇒3階舟江図書館 ⑥区役所の連絡所、社協の拠点⇒1階入舟連絡所、4階しもまち社協活動センター
⑦交番及び消防署⇒グランド跡地に消防署附船出張所、交番は現時点では公開できず
☆スケジュール;利用者や近隣への説明会を経て、10月工事開始、3月終了、4月備品設置、夏頃供用開始。
- (6)Q/A; Q1;1階の調理室はどうなるのか? A1;5階に調理室を設置する。調理台は大人用寸法。 Q2;2階のトイレは洋式か? A2;すべて洋式、ウォッシュレット。 Q3;展示室床は? A3;床材ではりかえる、タナは設置

せず。 Q4;展示室に収容する資料総数? A4;現在は不明。 Q5;コミセンの管理室が狭い。 A5;広げられない。休養室や他の行政機能との連携で乗り切ってもらいたい。
(7)グランド部分:消防局は附船出張所と入舟分団を移転する。今年度実施設計、来年度工事、来年度末竣工。
(8)北部コミセン移転後の跡地;(5,807㎡)
施設の総量削減とサービス機能の維持。活用しない土地、建物は原則売却する。コミセン本体は老朽化し、体育館も長寿命化は困難と判断する。
(9)H30年度の進め方; ①8月~ 庁内利用紹介(行政目的での使用計画の紹介)
②活用方針たたき台作成;土地活用条件を集約
③10月~サウンディング調査(業者に対し活用のアイデアを調査) ④地域との協議(行政の活用案を提示し、意見交換) ⑤~3月活用方針(案)決定

旧日和山小学校跡地



「日和山小学校

通学路の危険箇所 総点検」

安全環境部会 パトロール推進部長
阿部 幹雄

5月に西区で起きた小2女児殺害事件を受け、地域で子供を犯罪からどう守るかを考える講演会(県主催)が6月14日開催され、犯罪学専門の小宮信夫・立正大教授が犯罪の起きやすい場所の特徴を説明した。この講演会に

パトロール推進委員4名が参加しました。子供を犯罪から守る為には、「子供を見守る目」と「犯罪者が近づきにくい環境整備」が重要となります。

又、6月の大阪府北部の地震でブロック塀が倒れ小4女児が死亡した事故を考え、以下のように3つの視点から入舟地区の通学路に潜んでいる危険が無い点検し、日和山小学校へ危険箇所として「写真31枚」を提出しました。

「1」防犯:性的犯罪が起こりやすい場所 「入りやすく、見えにくい」

水戸教公園



みなとびあ公園トイレ



西海岸公園



「2」交通:事故が起きやすい場所 「見通しの悪い交差点」

せきとり脇



公益社脇S字路



早川堀通りT字路



「3」災害:ブロック塀が倒れる危険性が有る場所 「ひび、傾き、高さ」

窪田町3



田町3



舛川岸町



上記箇所は一例です。皆様のお住まいの地域でも防犯・交通・災害の視点から危険な箇所が有りましたら、どうぞご連絡下さいますようお願い致します。

第6回入舟コミ協 敬老会

福祉文教部会 古寺昭治

高齢者が30%を超える新潟市中央区の下町地域で、その長寿をお祝いし、地域の方々の親睦と交流を図りながらお互いの絆を深めて頂きたく、市の助成をいただきながら当行事を実施するものです。

第6回入舟地区敬老会(兼第38回しもまちお互いさまランチ)が9月16日新潟柳都中学にて開催されました。参加費はワンコイン500円で計132名の参加です。中学校ホールにて演目は ①柳都中学校吹奏学部(部員23名)による演奏(曲名:ドラエもん、鉄腕アトム、海援隊) ②ミスター中島さんによる



腹話術漫談 ③女池上山さん医療漫談ショーで、いずれも好評で温かい拍手を頂戴した所です。その後は昼食会です。通常のランチタイムでは調理ボランティア(コミ協婦人部20名)の手作り料理ですが、今回は外注のスペシャルランチ弁当を準備致しました。更にボランティアの調理したケンチン汁を添えておもてなしさせて頂きました。参加者の平均年齢は約80歳、女性が7割でした。今回参加できなかった方も次回には一緒に如何でしょうか。



ラジオ体操で「長寿」の会

体育指導 栗川 優

(1)長寿会も発足から3年が経過し、会員も増えています。常時50名前後の参加で会場が狭く感じるようになっていました。自分の体調に合わせて「体を動かし、声を出す」ことを続けることが「長寿への秘訣」だと思います。

毎月第1木曜日には約1時間「お笑いヨガ」(指導トレーナー:笠原待子先生)を取り上げています。笑いヨガは「笑いの体操」と「ヨガの呼吸法」を組み合わせた運動です。みんなで笑って体を動かすと脳を活性化し、生き生き元気に過ごせます。脳を刺激することで注意機能、判断力、認知機能の向上効果があります。

他の動きも含めて、是非一度お運びください。



新潟市健康寿命延伸アワード



(2)「寿命延伸活動」で受賞
市は市民の健康づくりを促進するため17年度を「健康寿命延伸元年」とし、優良な団体を表彰する「健康寿命延伸アワード」を定めました。本年はコミ協部門(応募36団体)で岩室地区コミ協のグランプリについて入舟地区コミ協と早通コミ協が準グランプリを受賞しました。

